

豊かな自然に ひと・もの・まちが輝く健康都市 網走

市議会だより

第114号
(令和6年2月)

発行／網走市議会 編集／網走市議会広報委員会



議場演壇にて
※50音順に議員を紹介していきます

小田部 照 議員 (47) 3期
会派：同志会 委員会：総務経済委員会
議会運営委員会

金兵 智則 議員 (46) 4期
会派：民主市民ネット 委員会：文教民生委員会
議会運営委員会

【もくじ】

トピックス	2 P
行政視察報告	3 P
一般質問	4 P～6 P
議決結果一覧	7 P
第3回臨時会概要	8 P
出前授業について	

みなさまの傍聴をお待ちしております
次の定例会は3月1日(金)から開催予定

■問い合わせ（網走市議会事務局）
TEL 44-6111 (内線281・282)



中継はこちらから

議会だよりを音声でお届け

ボランティア団体「声の図書館そよかぜ」は、目の不自由な方やご高齢の方々に朗読したCDを作成し、無償で配付しております。ご希望の方は、網走市議会事務局までご連絡ください。

12月定例会のトピックス

第4回定例会概要

第4回定例会が12月5日から14日まで開催されました。

令和5年度の一般会計に3億3537万円、国民健康保険特別会計に384万円、介護保険特別会計に555万円、後期高齢者医療特別会計に27万円を追加する補正予算など議案9件が提案され、各委員会に付託されました。

総務経済委員会では、人件費、議員報酬及び期末手当等、避難路照明整備事業、庁舎建設事業、市民税賦課業務費、持続的畑作生産体系確立緊急支援事業補助金、網走港密漁監視カメラ整備事業補助金、生活交通路線維持対策事業、市営住宅

解体事業、消防組合負担金の補正予算を審査。また、財産の取得（小型ロータリー除雪車）1件、意見書案3件を審査しました。

文教民生委員会では、一般会計に追加された住民基本台帳システム等改修事業、身体障がい者更生医療給付事業、介護保険特別会計繰出金、児童館冷房設備整備事業、带状疱疹予防接種助成事業、教育施設冷房設備整備事業を審査しました。条例改正では、印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正案を審査。また、付託された陳情1件が継続審査となりました。

共施設の指定管理者の指定と委託料の債務負担行為の補正を、それぞれ所管委員会で審査されました。

各委員会の審査結果は14日の本会議に報告されました。議案中、人件費の補正予算案と関係条例一部改正案について、古都議員は「民間給与も上がっていない中で給与を上げるのは不相当」との理由で、関連する議案第1号から6号までに反対、また、日本共産党議員団は「議員は人事院勧告の対象ではなく市民の納得も得られない」として、関連する議案第1号と6号に反対し、それぞれ討論を行いました。その後、採決を行い、これらの

議案は賛成多数で可決されました。

他の議案、意見書案は全会一致で可決されました。

最終日には追加議案が上程されました。新庁舎に関連する移転費用4484万円、情報システム整備4億5664万円、備品整備4億4929万円のほか、下水道事業の各補正予算、1人当たり1セット7千円のコインを郵送で配付する地域応援商品券事業2億6183万円、国の補正予算を活用して音根内橋・山里中園南4号線第1号橋・車止内川1号橋など12か所の橋梁長寿命化修繕事業1億8450万円、国直轄港湾整備事業負担金5250万円、国の補正予算を活用して所得の少ない世帯に7万円を

追加給付する生活困窮者自立促進支援事業3億4729万円、戸籍・除籍電子証明書提供用識別符号の発行に係る手数料条例改正案、国民健康保険について出産する被保険者の所得割額及び均等割額及び均等割額を免除する条例改正案を各委員会で審査し、全会一致で議案を可決しました。



行政視察報告

総務経済委員会 行政視察報告

総務経済委員会は、昨年10月24日から27日まで3市の視察を行いました。

栃木県日光市「新たなブランドイング」の取組では、活気あふれる魅力的な街へと育てていく事を統一的なブランドコンセプトと設定し、街の資源を新たな形で活用した取組を進めており、観光地としての差別化、市民への意識付けを進める理想的な取組であると感じました。

長野県上田市「空き家対策事業」の取組では、人口減少が進む中、核家族化も大きく進み、空き家の戸数は増え続ける現状において、官民連携により効率良く進める取組には評価すべき点が多く、

あらゆる方法で増え続ける空き家問題の解決に向け取り組む必要性を感じました。

静岡県焼津市「ドローンを使った防災」の取組では、防災や災害対応には正確でわかりやすい情報の共有は確かな判断・指示においても重要であることから、これまでの手段では把握できなかった情報は正確に伝えることのできる新たなツールとして、ドローンの活用は今後広がっていくものと感じました。

今回の行政視察では、熱のこもった職員による事業説明に対し、各委員からは活発な質疑があり参考となる点を確認しました。



総務経済委員会の報告書はこちら



文教民生委員会（寝屋川市）



総務経済委員会（焼津市）

文教民生委員会 行政視察報告

文教民生委員会は、昨年10月17日から20日まで4市の視察を行いました。

大阪府寝屋川市では、「いじめは重大な人権侵害である」との強い思いから学校や教育委員会とは別に、市長部局に「監察課」を設置し、攻めの情報収集として「いじめ通報促進チラシ」を配布。早期発見、解決に結び付ける行政による「いじめゼロ対策」を視察しました。

大阪府吹田市では、過去に起きた「いじめ重大事態」への深い反省から、「二度と同じことは繰り返さない！」との強い決意で取り組みできた「いじめ予防授業」等の「いじめ予防推進事業」を視察。網走市でもいじめの重大事案が発生してい

る中、両市の取組は大変勉強になりました。当市にも是非活かしたい、との思いから「政策提言」として市に提出できるよう準備を進めております。

兵庫県淡路市では、行動変容を促す「ナッジ理論」とAIを活用した特定健診、がん検診の受診率向上への取組を視察。当市とは比較にならない高い受診率に圧倒されました。

岡山県岡山市では、一つの中学校と4つの小学校を再編した9年制の義務教育学校を視察。単なる統廃合ではなく、新しい視点に立ったユニークな取組の数々は、人口減少、少子化に直面している当市にとって大変参考になりました。



文教民生委員会の報告書はこちら



深津・澤谷・永本

※各質問開始時間は動画の概要欄に記載

一般質問から

子育て政策、口腔機能 子育て、高齢者の健康

民主市民ネット 深津 晴江



問）父親の育児参画、祖父母等の学び、子ども発達支援センター、子どもの医療費無償化など、きめ細やかな子育て政策の実現を。

答）市独自の子育て支援政策と、高校生までの医療費の無償化など子どもを安心して産み育てやすい街づくりを進めてまいりたい。

問）胎児期からの子どもの口腔機能の支援を。

答）小児歯科医から専門職向け学習会実施。

問）子どもの人権を尊重する『子育て支援』子ども自身と市民の人権意識の醸成に向けた支援を進める必要がある。

答）人権問題に対する意識啓発を目的に、地域人権啓発活動活性化事業などを実施。

問）高齢者の健康支援として運動習慣の継続、社会的交流のための移動手段の確保を。

答）公平性の確保、財政負担の増大から困難。

問）子宮頸がん予防接種の向上を。

答）未受診者へ再度周知、接種の判断ができるよう説明。女性の健康の講演会を実施予定。

DVは人権侵害である と学ぶ機会を

公明クラブ 澤谷 淳子



問）先月11月12日～25日は「女性に対する暴力を無くす運動期間」だった。当市も70代の夫が妻を殴り死亡させる事件があったばかり。DVの相談件数の推移は。

答）配偶者からの暴力による相談件数は、令和2年度10件、令和3年度3件、令和4年度5件、令和5年10月末現在5件となっている。

問）DVにあったら、NOと言える・行動できる・通報できるために市民レベルで講演会などDVを学ぶ機会を。

答）令和3年「男女共同参画に関するアンケート」でDVに対する認知度は97.8%と高く、市民の意識醸成は図られている。しかし、被害を受けた方の約半数は「どこにも相談しなかった」と答え、相談先の市民周知について講演会の実施などは近隣の例を参考に研究していく。

問）デートDV防衛知識は中学生も必要では。

答）被害に合う可能性はある。チラシの活用を含め学ぶ機会を校長会と共に検討して行く。

終活支援、子宮頸がん、 高齢者の肺炎予防

公明クラブ 永本 浩子



問）超高齢化社会に向け「終活セミナー」の開催やエンディングノートの無料配布を。

答）エンディングノートの活用を含めた終活を学ぶ機会を検討。ニーズも把握していく。

問）「おひとり様」の不安解消と尊厳を守るため、市と葬儀社が連携した終活プランサポート事業や終活情報登録事業の導入を。

答）重要な課題と認識。先進自治体を研究。

問）子宮頸がんワクチンは男性の肛門癌や中咽頭癌等にも有効。男性接種の意義の周知を。

答）来年度開催予定の女性の健康に関する講演会の中で男性接種の意義も周知したい。

問）発症リスクが高まる30歳前の女性に自宅で出来るHPV検査キットを無料配布しては。

答）子宮がん検診のHPV検査を継続し、受検状況を見ながら無料配布を研究していく。

問）インフルよりも肺炎を起こすリスクが高いRSウイルスの周知とワクチンへの助成を。

答）HP等周知。他自治体の助成状況を研究。

町内会の現状について

研政会 古田 純也



問）近年網走市で、解散された町内会はどのくらいあるのか。

答）平成30年度から令和4年度の5年間で11町内会が解散している。

問）解散の理由は。

答）高齢化による役員のなり手不足、町内会活動を行う担い手不足、町内会を退会する世帯が増えたことなどが理由と網走市町内会連合会から伺っている。

問）解散後、町内会が維持管理していた防犯灯やゴミステーションはどうなるのか。

答）町内会管理の防犯灯については、町内会が解散した場合、基本的に撤去することになる。解散時の話合いで、防犯灯の維持・管理のみ地域の方で継続している、地区連合町内会が管理を引き継いでいるなど、撤去しないところもある。ゴミステーションもその地域の方々との協議により、設置は継続している。

その他、2項目質問しました。

一般質問から



永本・古田・里見・金兵・古都・村椿

地域の支え合い、 都市機能の大転換点

希政会 里見 哲也



問) 孤独や孤立をなくす、地域の支え合いにおける「担い手不足」の対応と、人と人をつなぐ「社会的処方」について、地域の自助をサポートする取組が必要。

答) 町内会、老人クラブほか地域住民の「支え合い」団体で、高齢化等により運営の「担い手」が不足しており、その支援のためセミナー等を開催。人のつながりは認知症の予防にもなり、地域の「シニア」の力が必要で、その周知に継続して取り組む。

問) 数年後に始まるであろう「都市機能」の大きな転換について。

答) 国の「高規格道路」計画の影響は大。市の老朽化した公共施設の今後の方向性は、ゾーニングと複合・集約化等によって、市民に利用しやすい持続可能な街づくりを目指す。国や道の官公署の動向含め、パブリックコメントも得ながら今後の「都市機能」を構築して行く。

街づくりの方向性・ 不登校への対応について

民主市民ネット 金兵 智則



問) 東京農業大学が今後も網走市に居続けてもらえるように積極的な支援が必要では？

答) これからも地域の関係機関や協力団体と情報共有に努め必要とされる支援に取り組む。

問) 公共交通等の運転手確保対策として、自衛官対象の説明会開催に取り組んでみては？

答) 公共交通事業者と意見交換を行い、情報収集と実態把握に努め、どうしたら取り組むことができるかということも含め研究していく。

問) 街づくりの将来ビジョンは？

答) 都市機能誘導構想検討協議会で議論が行われ、市民意見の募集後にまとまる提言書を基本に、街づくりを進めて行きたい。

問) 不登校児のためのフリースクールが継続して運営できるよう補助や支援が必要では？

答) 不登校児にも様々な選択肢があることが大切であり、フリースクールにも必要な支援が求められているため、どのような支援ができるか、研究、検討していきたい。

第二期創生総合戦略と ごみ処分場について

無会派 古都 宣裕



まちひとしごと創生総合戦略について

問) 様々な取り組んでいるが主軸となる政策はどれか。

答) 5つの基本目標にそれぞれKPIを設定しそれが重要評価指数というふうに捉えている。

問) 柱が多く、1つ1つが弱い。大きな柱を1つ据えたほうがいい。人口減少インパクトの緩和を掲げる市長はどう考えているか。

答) 何かに特化ではなく地域の特色を生かして重点的に進めるべきと考えております。それぞれ重点項目に沿ってこれから予算編成に当たり、重点項目の実現に向け努力したい。

ごみ処分場について

問) 考えうる最悪の事態とはどんな状況か。

答) 収集・搬入されるごみの最終処理ができない状況になることを最悪のケースと想定。

問) 現状が続いたと仮定し令和10年までは持つと断言できるのか。

答) 令和6年10月の調査を基軸として判断。

地産地消の学校給食を 路線バスに敬老パスを

日本共産党議員団 村椿 敏章



問) 食育を地産地消で進めると言うが、学校給食に網走産の野菜の割合は？

答) 北海道産の野菜が44%。網走産はわずか。

問) 私が調べたところ、給食に使われる野菜は1年間で5万8kg。JAでは400kgを出荷。1%以下、もっと増やせないか。

答) できるだけ多くの網走産の野菜を使っていきたい。

問) 市は公共交通を守るために助成をしている。一方で高齢者の足の確保が必要。敬老パスを発行し、低額でバスに乗れるようにできないか。北見市など先進自治体の取組を調査し検討したことはあるか。

答) 財政負担の増と居住地の相違による公平性の観点から導入は困難。検討したことは無い。

問) 北見市では、年間1人70回助成。同様に試算すると網走では5,100万円となるとし、検討を求めました。



立崎・松浦



石垣・小田部

一般質問から

道路について

研政会 立崎 聡一



問) 高規格道路の状況と今後。広域農道「昭和呼人線・山里浜小清水」の関連について

答) 北海道横断自動車道網走線「女満別空港網走間」は計画段階評価を推進中。地域意見聴取のアンケート調査を実施し、調査には市街地アクセスルートと現道改良ルートが示され市街地アクセスルートは、アクセス性や災害時の代替性に優れているが、事業費は高額となる。一部現道改良ルートは、速達性は劣るが経済性が優位になる。どちらになるかは第3回北海道地方小委員会で決定する。

高規格道路は、市道の交通体系に大きな影響を与える。広域農道は、農産物の輸送、観光ルートとしての利用も多い幹線道路で、道道昇格に向け要望を進めている。

この広域農道が、将来、高規格道路と接続されることが「物流の効率化」「観光周遊の利便性向上」につながる。高規格道路の概略ルートになるか注視する。

物価高騰で苦しむ市民
に対し暮らしの応援を

日本共産党議員団 松浦 敏司



問) 10月の消費者物価指数が前年同月比で3.6%上昇。食料品では7%以上のプラスが11か月続いている。第3回臨時会で福祉灯油券支給が可決。しかし、住民税均等割課税世帯は対象外だ。市の課税状況を伺う。

答) 総世帯18,044世帯、世帯全員が所得割、均等割とも非課税は5,506世帯、均等割のみ課税は834世帯となっている。

問) 住民税均等割世帯と非課税の収入の違いについて伺う。

答) 単身世帯で収入が住民税非課税となる収入は93万円以下、住民税均等割のみ課税となる収入は93万円超100万円以下だ。

問) コロナ禍の支援を含め様々な支援を受けられなかった住民税均等割世帯へ支援を検討すべきだ。

答) 道が1世帯当たり12,000円を支給しているので、支援は行われたと考える。

※月額にすると千円だ。支援を検討すべき。

働き手、人材不足について

希政会 石垣 直樹



問) 市内企業、水産、農業その他働き手不足の現状について網走市の認識は。

答) 水産業では慢性的な人手不足でホタテ稚貝、乗組員が不足。農業においては農繁期に苦慮している。JA網走ではスマホアプリで仕事の募集、応募ができるデイワークの活用が進んでいる。

問) 旅行を兼ねて働く「おてつたび」。一つの解決策と考えるが認識はどうか。

答) 新たな選択肢として期待しているところ。旅行先で働き金銭を得て、様々な体験ができ、市民との交流を持てるほか、スポットでも働き手を確保できるメリットがある。移住の契機につながる期待が持てる。

問) 網走市民にはネパールとのつながりがある。支援し、働き先として選ばれる網走に。

答) ネパールの事例は参考になるお話。外国人以外でも、訪れ、住みたい働き先となるよう、支援や情報発信をしていく。

国保人間ドック助成
部活動等の支援 他

同志会 小田部 照



問) 65～74歳の方が人間ドックの助成対象になっていないが、健康で働き続けるためにも助成の対象にすべき。受診率向上、国の支援金増加、早期発見治療につながり医療費や保険料の上昇も抑えられると考える。

答) 医療機関等と調整が必要。検討したい。

問) 少子化に伴い、部活動の廃部・合同チームでの活動が実情。活動を続けられる環境整備が重要であり、民間団体等を自治体が補助・支援する制度設定が必要。民間スポーツクラブはそれぞれの市町村だけで組むのではなく広域でのチーム編成となっている。どこが活動拠点でも子ども達を応援し保護者の負担軽減となる支援制度の見直し・拡充が必要。また、物価高騰を鑑み、報奨金の見直しも必要。

答) 御指摘のとおり見直しが必要。検討する。他、スキー場運営、不登校児童生徒への支援、いじめ専門委員会、議会議決に対する市政運営、二元代表制について質問。

議決結果一覧

第3回臨時会の議決結果について（11月22日）

議案と議決結果	民主市民ネット			研 政 会			公明クラブ		日本共産党議員団		同志会		希政会		無党派
	金	深	山	井	立	古	澤	永	松	村	小	栗	石	里	古
	兵	津	田	戸	崎	田	谷	本	浦	椿	田	田	垣	見	都
	智	晴	庫	達	聡	純	淳	浩	敏	敏	部	政	直	哲	宣
（○：賛成　×：反対）															
※議長は議決に加わりません。															
○議員別議案賛否一覧表（賛否の分かれた議案）															
議案第１号　令和５年度網走市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○全会一致で決定・可決した議案															
報告第１号　令和５年度網走市一般会計補正予算に係る専決処分の報告について															

第4回定例会の議決結果について（12月5日～12月14日）

議案と議決結果 (○：賛成　×：反対) ※議長は議決に加わりません。	民主市民ネット			研　政　会			公明クラブ		日本共産党議員団		同志会		希政会		無党派
	金	深	山	井	立	古	澤	永	松	村	小	栗	石	里	古
	兵	津	田	戸	崎	田	谷	本	浦	椿	田	田	垣	見	都
	智	晴	庫	達	聡	純	淳	浩	敏	敏	部	政	直	哲	宣
	則	江	司	也	一	也	子	子	司	章	照	男	樹	也	裕
○議員別議案賛否一覧表（賛否の分かれた議案）															
議案第 1 号　令和５年度網走市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×
議案第 2 号　令和５年度網走市市有財産整備特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第 3 号　令和５年度網走市国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第 4 号　令和５年度網走市介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第 5 号　令和５年度網走市後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第 6 号　網走市職員給与条例等の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×
○全会一致で決定・可決した議案															
議案第 7 号　網走市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について															
議案第 8 号　網走市公の施設に係る指定管理者の指定について															
議案第 9 号　財産の取得について															
議案第10号　令和５年度網走市一般会計補正予算															
議案第11号　令和５年度網走市国民健康保険特別会計補正予算															
議案第12号　令和５年度網走市下水道事業会計補正予算															
議案第13号　網走市手数料条例の一部を改正する条例制定について															
議案第14号　網走市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について															
意見書案第 1 号　ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書提出について															
意見書案第 2 号　刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書提出について															
意見書案第 3 号　パレスチナとイスラエルの市民を狙ったすべての暴力行為を非難し、即時に人道的休戦を求める意見書提出について															

トピックス

第3回臨時会概要

第3回臨時会は、一般会計補正予算と大雨による市道の維持補修費の専決処分報告を承認するため11月22日に開催されました。

補正予算は、暖房用燃料の価格高騰のため、所得の少ない世帯に対し、暖房用燃料券を1万円分支給するものであり、対象者は市民税非課税世帯など3900世帯となりますが、審査を行った委員から「物価高騰の中、1万円が妥当か」との質問に、国から7万円の支給予定があることから1万円としたと答弁がありました。

そのほか、ごみ最終処分場のかさ上げの検討をするための調査費、次期最終処分場の配置計画を

立てるための委託費、廃棄物処理広域化推進協議会が大空町東藻琴の中間処理施設予定地の測量を行うための負担金（1市4町）についても審査が行われ、補正予算は起立採決により賛成多数で可決、専決処分の報告については全会一致で可決されました。

項 目	内 容	補正額
暖房用燃料高騰対策事業	1世帯1万円の燃料券の配布	4,018万円
廃棄物処理検討事業	かさ上げの検討にかかる調査費	389万円
廃棄物処理広域化推進協議会負担金	中間処理施設建設予定地の測量費	213万円
最終処分場配置計画策定事業	次期最終処分場配置計画の策定	353万円
	合 計	4,973万円

網走市議会による出前授業

11月27日、網走桂陽高校3年120名と市議会議員15名が、今年も「選挙へ行こう！」をテーマに意見交換会を行いました。

事前アンケートでは、「選挙権を得たら選挙に行きますか」の質問に対し、行くと答えた方は53%で、行かないが7%、わからないが40%でした。「あなたにとって市議会または市議会議員は身近な存在ですか」の質問には、9割の方が身近さを感じていないと回答をいただきました。

そこで、前半は市議会が担っている役割や選挙の意義について議会側から説明を行い、後半はどうしたら若者がもっと投票に行くと考えますかとい

う視点で14グループに分かれて意見交換を行いました。

・SNSやネット、スマートフォン、アプリを活用する。

・利益・特典があると行く。

・スーパーやコンビニなどの身近なところに投票所を設置する。

・若者が興味を引くことや、喜ぶようなことを考える。などの声がありました。

出前授業後のアンケート結果では、9割の方が市議会議員が身近になった。市議会と市議会議員の役割について理解が深まった。と、多くの生徒さんから回答を頂きました。

